

浜松町駅の小便小僧に「はっぴ」等を装着

平成23年8月26日、第三管区海上保安本部救難課、東京海上保安部及び手芸ボランティアグループ「あじさい」の協力をいただき、JR浜松町駅の山手線外回りと京浜東北線南行きが発着する3・4番線ホームの「小便小僧」に青い羽根をつけた日本水難救済会の「はっぴ」を着せ、青い羽根募金の幟旗とともに、9月25日までの1ヶ月間「青い羽根募金」のPRを行うこととしました。



この像は昭和27年10月14日、鉄道開通80周年を記念し、歯科「小林光」院長より寄贈されたもので、昭和61年11月からは東京都港区の手芸ボランティアグループ「あじさい」が、季節にふさわしい衣装の制作と衣替えを行っており、浜松町駅の名物として、駅利用者の目を楽しませております。



今回の装着した「はっぴ」は、日本水難救済会の制服等に関する規則に則り、「あじさい」の皆様にご作成していただきましたもので、全体を紺地とし、背部に日本水難救済会の記章である赤色浮輪、下部に藍色の波状3本線及び肩部から両袖に赤線2本を配しております。